

①事業の基礎情報

事業名	高浜カリキュラム推進事業				担当部・グループ名	教育委員会 教育センターグループ					
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名	内藤 克己					
新規・継続の別	継続事業				電話番号(内線)	52-1111(内線 350)					
総計計画(基本計画)体系	個別目標	(4)学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます				予算・事業上の 予 算 書 上 の 予 算 措 置 な し	款				
	こんなことに取り組みます	各園・各学校の特色や高浜市のまちの資源(ひと・もの・こと)を活かした「高浜カリキュラム(生活・総合的な学習の時間)」を市内全園・全校で実施します。					項				
	みんなで目指すまちづくり指標名						目				
							事業名				
					総合戦略	■該当する □該当しない					
	現状値(H25)	・82 ・69	実績値(H26)	・88 ・77	実績値(H27)	・88 ・76	実績値(H28)		目標値(H29)	・85 ・75	(単位) %

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	★子どもたちが地域の人たちと関わり合いをもちながら高浜市の良さを学ぶことで、子どもたちを「高浜市に住み続けたい」「高浜市に誇りをもっている」「高浜市をよくしたい」という思いをもった未来市民として育成するため。		
対象(誰・何を対象に)	幼稚園児、保育園児、小学生、中学生 幼稚園・保育園・小学校・中学校の全職員	対象の数量	11園、7校
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	☆子どもたちが、教職員だけでなく地域の人たち(ゲストティーチャー)と関わり、高浜市の伝統・文化等を学び高浜市の良さを実感して「高浜市に住み続けたい、将来貢献したい」と思いながら未来市民として成長している。そして、教育基本構想の目標の1つである「高浜市の良さを感しながら心豊かに成長・発達するための、12年間の学びをふまえた幼・保、小、中一貫教育の創造」ができています。 ☆子どもの学びや育ちに関わる地域の人たちが増えている。		

③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度(当初予算額)		決算額	主要内容	
事業費総額(千円)		—	—	
財源内訳	一般財源	—		
	特定財源	国・県支出金		—
		その他		—
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業	

④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆高浜カリキュラムを充実させるために、推進委員会を2回開催し各園・各校のモデルプランを話し合った。	H27.5・8	—
	◆小学校の1年生と幼保との連携が分かるプランの作成を依頼した。	H27.8	—
	◆各園・各校に高浜カリキュラムを実践し、ワークシートや単元構想図などを所定の場所に整理して保存した。	H27.5・8	—
参画・協働・ 情報共有の工夫	★ 高浜カリキュラムでは、各園・各校で実態に合わせてプランを組み立て、地域の方に講師を依頼したり、学びの場を提供してもらったり、地域の方と触れ合ったりして、思いを共有したり、子供たちの成長を親近感をもって見守ってもらったりしている。		
	★ 高浜カリキュラムのモデルプランを集め、高浜カリキュラムの完成を目指している。		
進捗状況	モデルプランについては、一部の学校で遅れが出ている。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆モデルプランの遅れは一部あるが、高浜カリキュラムは実施でき、子どもたちが高浜を大切に思う気持ちは高めることができた。		



⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
(1) <u>カリキュラムの活用方法の検討</u> ・総合的な学習の時間、生活科のモデルプランの入力が来年度で一区切りとなり、今後の活用方法を工夫すること。	・各校が活用しやすくするように、毎年、加筆修正を依頼する。



⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに(年月)
計画(案)	◆各園・各校のモデルプランなどを検討し、高浜カリキュラムとして紹介できるような12年間のつながりが感じられるものを集約する。	H29.3
	◆取組はうれしいおいしいを味わう年長の「食育」、まちの良さを見つける2年生の「街の宝物・すてきな人」、災害を知り、身を守る6年生の「防災対策先人から学ぶ防災」、進路を見定め生き方を学ぶ中学校の「キャリア教育」	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆地域の方に講師になっていただくことで、相互理解をはかっていく。	
	☆高浜の産業や文化などに焦点をあて、地域理解や、地域を誇りに思う気持ちにつなげる。	
	☆高浜カリキュラムの作成にあたっては、写真を多く掲載し、魅力を伝えていく。	

特記事項	
------	--